

TSA

TOBA SUPER AQUARIUM

No.84 WINTER 2023

特集

ラッコ飼育40周年



TSA 特別講座

動物園と進めるネコ科動物の繁殖研究

楠田 哲士

地球で遊ぼう！

木の楽器を鳴らそう♪

岩見 賢太

鳥羽水族館

ISSN 0916-9725

ラツコ飼育40周年

飼育研究部 石原 良浩



昭和58年（1983年）10月3日、鳥羽水族館にはるばるアラスカから4頭のラッコたちが仲間入りしました。今から40年も前のことです、というより40年も経つてしまつたというのが正直なところです。

思い起こせば40年前のある日のことです。至急館長室に来るようとに連絡があり、不安な気持ちで赴くとそこには当時の上司たちが勢揃いしていました。すると館長から「ラッコが入つてくるから古田係長（元館長）と二人で担当として受け入れ準備をするように…」と。思わず、えっ！わたしですか？ところでラッコって何ですか？と聞き返したことを今でも覚えていました。入社3年目の私にとって、確かに小学校の図書室に『いたずらラッコのロッコ』という本を見たことがある（読んでいない…）くらいの記憶しかなくそれが動物なのをかさえわかつていませんでした。

ラッコって何?



ラッコ専用に建てられたオーシャンホール

は毛皮担当の舌獲て絶滅、前にまで追い込まれましたが、手厚い保護のおかげで順調に回復してきましたという歴史があります。

何もかもが手探し状態で…

当館にやつてきたオス1頭、メス3頭のラッコたち。写真でしか実物のラッコを見たことがない私たちにとってどんな生きもののか全く見当がつきませんでした。ところが、初めて見る実物のラッコはとても可愛く、私たちの足元

に寄つてくるなどその人懐つこそ
に大変驚かされました。一般公募
によりエミ、モコモコ、プツク、
コタロウと名付けられ、少しばか
りの文献とシアトル水族館からの
わずかな資料を参考に手探りでの
飼育が始まつたものの、やはりひと
筋縄ではいきませんでした。到着
して早々長旅の疲れから体調を崩
す個体が続き、何が正解かわから
ないまま治療に苦労したこと。毎
日大量に抜け替わる毛にろ過設備
が追い付かず対応に苦慮したこ
と。また、ラッコは大食漢でとにかく食べ続けないといけないとい
うことで、毎日早朝から夜遅くま
で世話を追われる日々が続きまし
た。私たちには日本初となるラッコ
の誕生に何としても育つてほしい
も通りプレルに向かうとわが目を
疑う出来事が…。入館早々体調を
崩したメスのうちの一頭、プツク
が出産していたのです。プツクは
入館時の治療により妊娠の可能性
はなくなるといわれていたのでまさ
に青天の霹靂でした。ラッコの
飼育法すら確立されていない手探
り状態の中での出来事にこれから
何をしていいやら頭の中は真っ白
になりました。ラッコの赤ちゃん
は、のちにチャチャヤと名付けられ、
母親プツクの熱心な子育てのおか
げで元気にすくすくと育ちました。
私たちには日本初となるラッコ

ラッコ専用プール

A person wearing yellow waterproof boots is sitting on a blue surface, possibly a boat or a dock. The boots are designed to protect against water damage.

人懐っこいコタロウ

A photograph showing two men in dark uniforms washing fish in a stainless steel sink. They are wearing aprons and gloves. A large tray filled with fish is on the counter next to them.

毎日たくさんの餌が必要

A close-up photograph showing a person's hands carefully holding a large, dark, textured object, which appears to be a sea turtle egg, over a blue plastic bucket. The background is slightly blurred, showing more buckets and what might be a beach or coastal area.

大食漢なラッコたち

二十四時間観察を行い、休みもなく肉体的にもとても大変でした。しかし、新たな命の誕生とわが身を顧みずすべての愛情を赤ちゃんにそぐ母親の育児、赤ちゃんラツコの日々の成長を目の当たりにして毎日が感動の連続で疲れなどほどんど感じていませんでした。



20年ぶりの誕生(メイ)



チャチャを大切に扱うブック



日本初出産

これからも

私たちがこれまで飼育してきたラッコたちからとても多くのことを学ばせてもらつてきました。それぞれとても個性的で魅力あふれる彼らのことは今でも鮮明に覚えており、これからも忘ることはできません。2023年現在、国内の飼育ラッコは鳥羽水族館のメイ(19歳メス)、キラ(15歳メス)とマリンワールド海の道のリロ(16歳オス)の3頭となってしまい、このままでは近い将来すかも知れません。しかし私たち水族館や動物園は命ある資料(動物)を飼育展示する「命の博物館」としてすべての生きものが安

出生個体たちの繁殖参加率は低下し、野生からの搬入もストップしたことにより国内の飼育頭数は減少の一途をたどりました。そこで鳥羽水族館がリーダーとなり繁殖検討委員会を毎年開催し、飼育数を増やすべく対策を検討してきましたが、減少に歯止めをかけることはできませんでした。

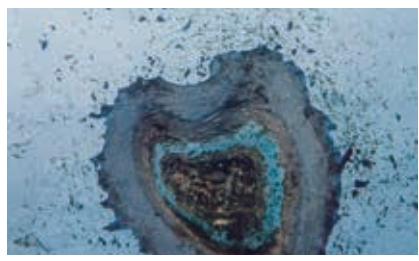
そんな慌ただしい中、ラッコたちは持ち前の器用さ、知能の高さゆえの応用力に加え、旺盛な好奇心に根気良さが相まって新設されたプールもわずか2年ほどで壊されたり。しかし、そんな日々を重ねるなど常に私たちの想定をはるかに超えてくるのがラッコという動物だと思い知られてきました。しかし、そんな日々を重ねるにつれ、個々の思考や行動など個性を理解できるようになりラッコ



ラッコブームで毎日長蛇の列が



ラッコプール前の様子



コタロウに削られたプールの壁

ことにし、ポテトへの思い切った食事制限と体重管理を徹底したところ、そのかいあってとうかポテトの今まで以上の頑張りがあつてやつとのことでメイが誕生したのでした。実際に20年ぶりとなる赤ちゃんラッコの誕生です。その後ポテトの献身的な育児によりメイはすくすくと成長し、ロイズとのペアリングでさらなる繁殖を目指しましたが、ロイズの突然の死により事実上日本国内での繁殖はできなくなりました。

一方、国内の状況も当初は順調に繁殖が進み、1994年には28園館で122頭(うち半数以上が繁殖個体)まで増加しましたが、以降世代交代が進むにつれ飼育下

鳥羽水族館では日本初となる赤ちゃんラッコ「チャチャ」誕生以後赤ちゃんに恵まれませんでした。コタロウはもとより、神戸市立須磨海浜水族園よりブリーディングローンでオスのチャーリーを受け入れ繁殖を試みましたが結果にながらりませんでした。そして、エミ、モコモコ、ブックたちも高齢となり、新たにリンクス、ポテトを迎えたものの、相性が合わず7年もの間まったく進展がありませんでした。ところがリンクスを頑

全で快適に暮らしていくよう自然環境の保護の必要性や命の大切さをできるだけ多くの人々に伝えていく必要があります。それには言葉や文字での説明よりも生き生きとした動物たちの姿も見て、興味を持ついたたくことがいちばんだと考えています。以前のラッコブームから長い期間忘れ去られた存在になっていた印象があるラッコですが、それは私たちの情報発信不足が原因だったかもしれません。ところが、昨今のSNSの発展などにより第2次ラッコブームと

力を続けていくことを私たちの使命として頑張っていきたいと思います。



現在のメイとキラ



SNS用に撮影



第2次ラッコブーム?

なに拒絶していたポテトが新たに迎え入れたオスのドンをすんなり受け入れたのです。しかし残念ながらドンとの間に2回、ドン亡き後リンクスとの間に1回出産しましたが、3回連續での死産となりました。そこで私たちはこれまでの飼育管理方法をすべて見直す

ドンとの間に2回、ドン亡き後リンクスとの間に1回出産しましたが、3回連續での死産となりました。そこで私たちはこれまでの飼育管理方法をすべて見直す

三重の水辺紀行



ズワイエビとセミエビ



イセエビ



町のシンボルイセエビ大王



朝の船だまりの情景

三重の 水辺紀行

mie-no-mizubekikou

自然あふれる三重の水辺を巡る

—幼き日の記憶を辿る—

続いて、祭の会場になつてゐる大矢浜（砂浜）へ。かつてこゝには網干場があり、網から外されたトラザメやネコザ

と、私の生まれ育つた町、志摩市浜島町があります。毎年6月には伊勢えび祭が開催され、地元のみならず周辺地域の人々や観光客でそれはそれは賑わいります。

暑すぎた夏がようやく終わりを告げた10月初旬、今年もイセエビ漁が始まりました。思い立つたが吉日、まずは日の出直後の漁港へ向かいました。エビ網（刺し網）にかかるのはイセエビだけではありません。ブダイやカワハギ、タカノハダイ、なかなかお目にかかれないセミエビやズワイエビなどたくさん生きのを見ることができました。

魚市場での競りが終り、船上での網さばきを見た後は、ウミネコの群れを眺めながら昔よく遊んだ磯と浜辺を散策することにしました。最初の目的地は大矢取島（おおやとりじま）です。地層がむき出しになつた格好いい島で、かつては干潮時に地続きになりワクワクしながら探しものですが、今では堤防で繋がりいつでも行き来ができるようになつていま

す。

メ、タコノマクラなどでよく遊びましたが、全く見当たりません。干潮時に消波ブロックの前に出現する道があり、すぐ隣の釜崎の浜（玉砂利の浜）と繋がっていたのですが、いそもん（イシダタミなどの貝の地方名）採りに夢中になりすぎて満潮に気付かず、消波ブロックの中から出られなくなり、漁師のおじさんに助けられ命拾いをしたのは苦い思い出です。

人工海浜として二つの浜が繋がってから早30年以上。生物相も少し変わり、砂浜部分ではかつて見られなかつたようなスナガニの巣と掘り出した無数の砂団子が見られました。新しい生きものが根付いた一方で、片隅に残る玉砂利部分では以前と変わらずたくさんの種類の貝を探すことができました。

この町に生まれて良かつたなあ、故郷愛が更に深まつた秋の休日は、日頃の運動不足と、遠足前の睡眠不足で帰る頃にはへ口へ口状態に。帰宅後爆睡したのは言うまでもありません。

営業第一部 井上 まゆこ



浜辺で見つけた貝殻



スナガニの巣と無数の砂団子



大矢取島



やっと撮影できたベニシオマネキのメス。真っ赤な甲羅がとても美しい。

沖縄海岸探検 II

飼育研究部 若林 郁夫

去年の秋、私は南の海の海岸生物観察のため沖縄県へ出かけたことを本誌82号でご紹介しました。しかしその時の探検は、お目当てのミナミスナガニやオカヤドカリには出会えたものの、台風接近の影響で雨に降られることが多く、今一つ成果が少なかつたことをお伝えしました。今回、その時のリベンジを果たすため、私は再び沖縄の磯や干潟を探検する旅を計画したのでした。

今年も出発直前に台風が接近したりでやきもきしましたが、到着した10月5日夕方の沖縄の天候はまずまずで、前回よりもいい条件での探検が期待されました。さっそく私はレンタカーに乗り込み、出会えそうな生きものたち想像しながらワクワクドキドキな護市方面へと出発しました。途中の砂浜でスナガニ類の採集調査もやりながら、翌朝訪ねる磯を目指しました。そして今回も金欠旅行のため、1日目はもちろん車中泊です。地元料理のお惣菜とオリオンビール（沖縄の地ビール）をスーパーで購入し、車の中で沖縄の味を楽しんだりしながら、朝が来るのを待つのでした。

まだ暗い5時20分頃、潮が一番引く時刻の少し前に磯に降り立つた私は、岩場や周辺の浅瀬を懐中電灯で照らしながら、生きものの姿を探してみました。岩の表面を見てみると、超大型のヒザラガイ、



ヒザラガイと餃子のようなオハグロガキ



これが沖縄の磯

それから、餃子のよくなオハグロガキがたくさん付いていました。三昧えりついでいます。その後も探し続けようと、10個ほどの巻貝が一ヵ所に集まっているのを見つけました。じつと見ていると巻貝はちよこちよこと移動しており、どうやら中にヤドカリが入っていることは間違ひなさそうです。波のないところで貝殻の口を上にしてヤドカリが出てくるのを待つてみます。やがて姿を現したのは、私がこれまで見たことのない色鮮やかなヤドカリで、眼柄が蛍光色の青色とオレンジ色、表面がソルツドカリという種類の様です。周囲が明るくなるにつれ見つかる生きものも増え、見たことのないヒトデやウ

二、さらに3種類のヤドカリも追加で見つけることができました。沖縄の磯のヤドカリたちは美しい色彩のものが多々、何だか気質も陽気そうに感じられました。少しがれで観察時間でしたが、三重県とは違う沖縄独特の磯の様子を少し感じることができたのでした。

その後はさらに車を北へと走らせて、今度は干潟の生きもの観察です。またまた見つけた干潟に降りてみると、ヒルギ類いわゆるマングローブが所々に生えていて、いかにも南国の干潟らしい風景が広がっていました。干潟の表面をじーっと見てみると、たくさん穴があいており、やがて小さな力二たちがあちらこちらから出てくるのが分かりました。しかしからが少しでも動くようなものなら、力二たちはいつせいに穴の中へと隠れてしまします。きれいな力二を見

つけたため、そろ一つとしゃがみ込みました。カニは体を少し出すのですが、私の姿をみつけると、またサツと隠れてしまいます。それでも我慢を続けて10分ほど、何とか美しいカニの全身を写真に収めることができました。ベニシオマネキのメスの様です。大きな赤いハサミをもつたオスも見かけたのですが、残念ながらくら上はつても近くで撮影することができませんでした。ここでは他にも大きな白いハサミをもつたオキナワハクセンシオマネキにも出会うことができ、ちょっとだけですが沖縄の干潟の様子も覗くことができたのでした。

その後、私はヤンバルクイナが生息すると言われる沖縄本島北部の方まで足を延ばし、ヒカゲヘゴが生え原生林やマンゴーロープが発達した

河口、白い砂浜など色々な沖縄の美しい自然を見て回ることができました。しかし残念な光景にも出くわしました。観光のためきれいに維持された自然があちらこちらにある一方、人があまり訪れないような海岸には多量のプラスチックごみが打ち上げてあるのを度々見かけることがあります。沖縄にもこんな場所があることにビックリすると同時に、人間の便利だ、簡単だ、安いから、といったわがままな発想や行為が、沖縄の美しく多様な自然環境をもむしばんでいる現状を知ることになりました。私の2度目の沖縄海岸探検はちよつと複雑な気持ちで終わることとなつたのでした。地球温暖化に海洋プラスチックごみ、私たちは今すぐ取り組まなければなりません。



スペスペサンゴヤドカリ



ツマキヨコバサミ



ツマジロサンゴヤドカリ



ハクセンシオマネキのオス



えつ油繩？　ゴミだらけの砂浜



05: フンボルトペンギン

06: イセエビ

07: ウミサボテン

08: オニヒトデ

01: ジュゴン

02: ミズクラゲ

03: アメリカザリガニ

04: シロワニ

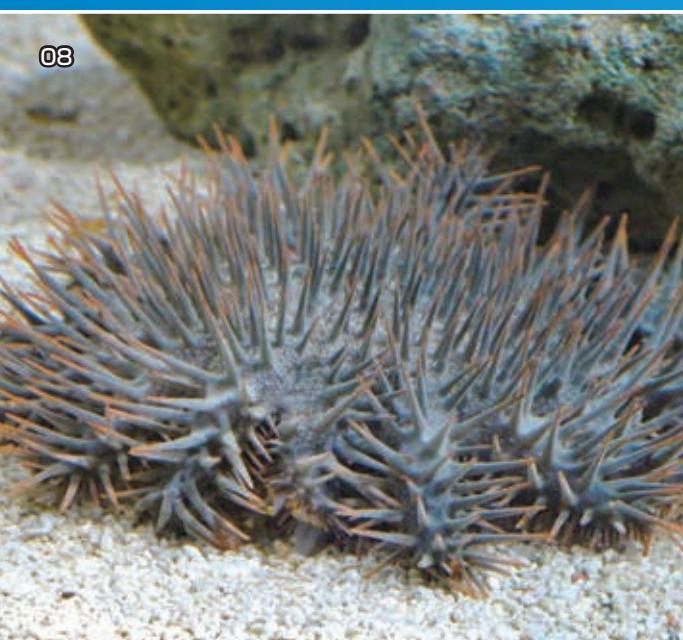
あっはれ!
キーワード水族館
さいしゅうかい
【最終回】

ふりかえる の巻

あんな話題やこんなネタいろいろありました。

今回は最終回。

これまでを「ふり返って」みましょう!





13



14



09



10



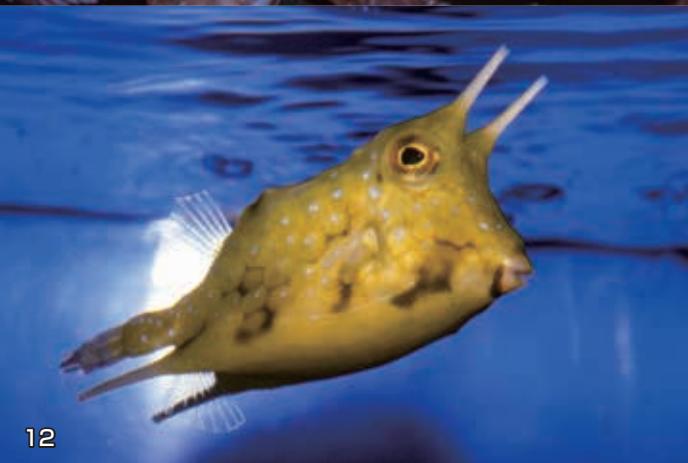
15



16



11



12

13: ブルーマロン
15: ハリセンボン

14: キンチャクガニ
16: チンアナゴ

09: アフリカマナティー
11: ミノカサゴ

10: ミズダコ
12: コンゴウフグ

これまで「あっぱれ! キーワード水族館」では、館内の観覧ゾーンや生きものの種類ごとといったような分け方ではなく、さまざまなキーワード(テーマ)をもとにして生きものたちをご紹介してきました。それは、目や口、足といった「体の部位」や、食べる、眠るといった「動きや行動」をもとにしたものでした。

さて、最後のキーワードは「ふりかえる」でお話をすすめていこうと思います。

水族館の歴史をふりかえる

ふりかえってみると、鳥羽水族館は1955年(昭和30年)の開館から、今年2023年で68周年を迎えました。この68年という長い年月で、私たち鳥羽水族館のスタッフは、たくさんの生きものを取扱い、多くの飼育記録を残してきました。その中には、世界初や日本初であった出来事や記録がありました。中でも注目されたのは、スマメリの初繁殖やラッコの赤ちゃん誕生といった出来事です。ちょうど2023年は「スマメリ飼育60周年」「ラッコ飼育40周年」という当

館にとつて節目の年であり、それぞれに記念イベントが行われ、我々飼育スタッフにとても過去の記録や資料を読み返す(ふりかえる)良い機会となりました。

水族館で探してみよう

皆さんには水族館に行つたとき、どんなふうに見学をしていますか?多くの皆さんは「〇〇が見たい!」「癒やされたい!」というような気持ちで見学されていることと思います。そこで、ちょっと違う視点で館内を回つてもううと普段とは違う発見をすることがありますよ。皆さん気がなつたキーワードで生きもののたちを探索してみてくださいね。きっと面白い発見や出会いがあるはずです。いやあ、生きものってじつにあっぱれ!なのです。

それでは、このコーナーはこれにておしまいとさせていただきます。次回からは、新たな切り口で鳥羽水族館の生きものたちを紹介するコーナーが始まります。どうぞお楽しみに!

どうぶつえんすすはんしょくけんきゅう 動物園と進めるネコ科動物の繁殖研究 —飼育下繁殖から生息域外保全へ

岐阜大学応用生物科学部 教授／動物園生物学研究センター長

楠田 哲士

野生スナドリネコの危機

国内外の野生ネコ科動物の多くが絶滅の危機に瀕しており、国際自然保护連合（IUCN）のレッドリストでは、種レベルではネコ科の半数ほどが「危機（EN）」か「危急（VU）」の評価を受ける絶滅危惧種です。種や個体群のレベルでは、チーター、ライオン、ヒョウ、トラ、ベンガルヤマネコ、「ピューマの中に、絶滅危惧の最高ランク「深刻な危機（CR）」のものが含まれます。

リネコも「危急(VU)」と評価される絶滅危惧種です。IUCNによれば、**スナドリネコ**は都市化や工業化による生息地のはかい、**獣猟**、**地域住民との軋轢**による報復駆除が続いているようです。生息域全体で過去15年間で30%以上もの個体数の減少があつたことが報告され、現状では今後15年間でさらには30%減少するとみ込まれています。このように、野生では深刻な脅威に直面しているため、**生息域外**での飼育面から個体群の維持管理がさらに重要と考えられています。

難しい繁殖と動物園の繁殖研究

発情兆候を見極め、雄との同居のタイミングをはかるようになります。相性を解決することはできませんが、いかに発情ピーク時に同居させて、闘争を少なくさせられるかが大事です。王国では、この課題に応じるために、展示会リリア内見合い場所の新設や発情誘導法の検討なども含め、様々な試行錯誤が行われています。

かだと必然的に同居させる機会が少なくなります。様々な取り組みを進める中、2023年2月に初めて交尾が確認できました。その後、糞中の性ホルモン濃度の変化から排卵を推定でき、王國も私も学生も非常に喜んだことを鮮明に覚えています。続いて、別のホルモンからの妊娠判定を行いましたが、残念ながら妊娠の可能性は低いことが分かり、その後、出産もありませんでした。飼育管理や繁殖研究は少しずつ進展していますが、今のところ繁殖成功には至っていません。こうした終わりのない積み重ねが重要なことは当然ですが、個体も歳を取つては、そのため次なる手段が計画されています。この稿が公開される頃は、次の計画が動き出している頃でしょうか。

日本の希少種も

情関連行動だろうと考えています。ただ、実際には各行動の発現時間の合計は非常に短く（少なく）、最も多くみられた日でも、24時間中に鳴音は合計で約6分、尿スプレー行動は112回、陰部舐めは約17分しかなく、各行動は一瞬のものなので、この程度の変化を日常生活の中では捉えることは容易ではないと思います。闘争が激しいため、同居させることに通常以上に慎重さが求められる中、発情兆候がわずかに見えていました。

スナードリネコと同じ *Prionailurus* 属に分類されるネコ科動物が日本にもいます。日本に生息するネコ科はイリオモテヤマネコ(西表島)とツシマヤマネコ(対馬)の2種類だけですが、同じ属に分類されるため、スナドリネコに近い種です。環境省のレッドリストで、ともに最も絶滅危険性の高いカテゴリーの絶滅危惧 I-A 類です。ツシマヤマネコは、環境省の保護増殖事業の一環として生

究に回せる経費はほとんどありませ
ん。そこで、この研究や動物園を皆
様にぜひ応援していただきたく
月からクラウドファンディングに挑
戦中です(図3)。一緒にネコ科動物
たちの未来をつなげる仲間になつて
いただけませんか。

楠田 哲士 Satoshi Kusuda

国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学 応用生物科学部 動物繁殖学研究室 教授
日本大学生物資源科学部卒業、岐阜大学大学院修了、博士（農學）。日本学術振興会特別研究員などを経て 2008 年から岐阜大学応用生物科学部。専門は動物保全繁殖学、動物園学。公益社団法人日本動物園水族館協会生物多様性委員会外部委員、日本野生動物医学会理事、野生動物保全繁殖研究会理事などを務める。哺乳類、鳥類、爬虫類を対象に飼育下繁殖の推進にむけて、動物園・水族館と繁殖生理研究を行っている。主著に「動物園学入門」（朝倉書店）、「神の鳥ライチョウの生態と保全」（絶縁書房）、「岐阜県の動物」（岐阜新聞社）など。

息域外保全が行われ、動物園での繁殖計画が進められています。私たちとは日本動物園水族館協会との共同研究として、繁殖生理分野を担当しています。自然な発情・排卵・妊娠の状況や人工的な発情排卵誘起と人工授精時の状態を、糞中の性ホルモン濃度動態から非侵襲的に調べ、繁殖を陰で支える研究をしています※2(図2)。先述のスナドリネコの研究データもいかされます。

参考文献（これらの文献もぜひご覧ください）

- ※ 1…三谷伸也. 2022. スナドリネコの繁殖について. *TSA* 82 : 2-5.

※ 2…楠田哲士. 足立 樹. 2023. 動物園と進めるツシマヤマネコの繁殖生理研究—飼育下繁殖の推進のために. *生物の科学 遺伝* 77(5) : 352-357. https://www1.gifu-u.ac.jp/~lar/contents/lar_article/img/iden-yamaneko.pdf

※ 3…楠田哲士. 2021. 動物園における絶滅危惧種の繁殖学—繁殖生理を調べて飼育に生かす. *生物の科学 遺伝* 75(2) : 136-145. https://www1.gifu-u.ac.jp/~lar/contents/lar_article/img/iden2021-3.pdf



図3 写真是研究対象のネコ科動物の一部。2023年11月29日から2024年2月27日までREADYFORでクラウドファンディングに挑戦中。



図2 名古屋市東山動物園で生まれたツシマヤマネコ“したる”(2023年4月23日生まれ、生後10日齢)。母親の糞中ホルモン分析により排卵の確認と妊娠判定に成功。



図1 神戸どうぶつ王国のスナドリネコの雌“セーラ”。繁殖を目指して糞中ホルモン濃度動態から発情と排卵の状況を調査中。

釣り日記 飼育貢



—第20回—
八又

飼育研究部 计 晴仁

肉食魚と聞くとブルーパスやブルーギルといった外來生物の悪いイメージを抱く人が多いかもしませんが、そもそも日本にはたくさん肉食魚が居ます。その中でも「バス」は古来より日本に生息するれっきとした固有種です。

6月下旬、今回はそんなバスを探す旅に出ました。本種は琵琶湖水系に生息する淡水魚なので、自ら車をそちらへ向けることにしました。到着して早々、あゝ広い…と心が折れそうになります。読者様の中にどれだけ釣りをする方が居るかわかりませんが、琵琶湖など広大なフィールドから魚を探すということは非常に難しいことで、砂浜の中から落とした指輪を探し当てるような感覚といえばイメージができるでしょうか。その確率を上げる作業が習性を知ることです。バスは琵琶湖本湖と流入河川を行ったり来たりする習性があるらしく、今回はその河「域近辺に絞りました」としました。ということで長靴を履いて湖岸を歩き回ります。するとある場所でとても長い鮎を持った魚を湖底に見かけました。おそらくバスです。彼らは主に稚鯿などを捕食する魚なので、すぐさま小魚をモチーフにした

ミノー」というルアーを投げ入れます。ところが全く見向きもしてくれません。おかしいなと思ひながら湖面を観察しているとハスの魚群が通っています。魚はいることがわかつたのでなんとか釣る手段を模索します。そこで別のタイプのミノーが気になつたので付け替えてみます。するといきなりハスが食いついて呆気なく捕獲となつたのです。少しコアな話になりますが、ルアーは動かす時に周囲の水を押す力、運動が発生します。今回その運動が弱から強のルアーに変えた瞬間にハスの反応が一気に変わつたのでした。これは彼らが水の動きを捉える身体の器官である側線が関係しており、強い水流変化に反応する習性を持っていたからだと推測することができました。

またこちらのハスですが、琵琶湖水系が原産であるにもかかわらず、他の河川でも生息が確認されています。これは琵琶湖産の鮎を各河川に放流する事業があり、その中に本種も混入したからだと考えられています。

それにしても驚のようにしゃくれたアゴの威風堂々とした佇まいに感服させられた初夏の夕方でした。



メスのハスは尾鰭が短い



琵琶湖に流入する河川。釣りはせず探索するだけで楽しい。



湾曲した独特な口と面構えが何とも言えない。地元では「ケタバス」とも呼ばれ、親しまれている魚の1つ。

第9回
人魚姫
セレナとの
日々

飼育研究部 半田 由佳理

セレナとの 「ちょっとした」かけ引き

みなさんは好きな食べ物を最初に食べますか？それとも最後ですか？私の好きな食べ物は唐揚げやチーズ、生クリームなど。好きなものはひとくち残しておいて最後に食べます。では、セレナはどうなのでしょうか？

現在セレナに与えている餌は海草（アマモなど）と野菜のロメインレスです。ジユゴンは草食動物なので肉や魚は一切食べません。本来なら野生のジユゴンが食べているものと同じ海草だけをあげたいところですが、天候不良などで海草が入手できないこともあります。そこで、餌の海草が不足した時の代用食とし

それを食べた後に海草を与え
るといった順番にしていま
す。お腹が空いている時は口
メインレタスを残さずに食べ
てくれるのですが、完食が続
いているからと与える量を少
し増やすと増やした分だけ残
します。ひざじときには全く
食べなくなることも…。また、
食欲旺盛で食べるペースが早
いからアマモを増やそう!と
海草を多く与えた翌日はだい
たいロメインレタスを残すの
で、海草を増やしたことによ



海草をモリモリ食べるセレナ



ロメインレタスは食べる気なし(枕じゃないよ!!)

口メインレタスを使っているのです。セレナには普段からロメインレタスに慣れてもらいため、毎日3kg～5kgほど与えていますが、セレナの好みの順番としては海草が一番でロメインレタスが最下位。いつも残さず食べてもらうために少し苦労をしているのです。じつはセレナ、好きなものは最初に食べたい派のようだ、海草とロメインレタスを同時に与えると当然ながら先に海草を食べ、ロメインレタスを残してしまいます。そのため、最初にロメインレタス、

し後悔…。セレナは後から大好きな海草がもらえることを分かっているので、無理にロメインレタスを食べなくて済みます。そんなことから私たち担当者の中では「朝のロメインレタス食べた?」なんて会話をいつもしています。

ある時、海草が不足しそうなので代用食であるロメインレタスの割合を増やしました。最初はなかなか食べませんが、海草がないと分かると急に勢いよく食べだします。そしてこんなこともありました。夕方に与

えたロメインレタスをいつまでたつても食べないので、もうこれでおしまい（海草はありませんよ）と水槽照明を消すと、諦めたのかその後すぐに食べだしたのです。その日セレナは最後まで海草を待っていたようです。

「どうすればセレナが残さずにロメインレタスを食べててくれるのか、海草を与えるタイミングや量を上手く調整し、セレナの心を読みながら【ちょっとした】かけ引きをする毎日なのです。

みなさんは好きな食べ物を最初に食べますか？それとも最後ですか？私の好きな食べ物は唐揚げやチーズ、生クリームなど。好きなものはひとくち残しておいて最後に食べます。では、セレナはどうなのでしょうか？

現在セレナに与えている餌は海草（アマモなど）と野菜のロメインレスです。ジユゴンは草食動物なので肉や魚は一切食べません。本来なら野生のジユゴンが食べているものと同じ海草だけをあげたいところですが、天候不良などで海草が入手できないこともあります。そこで、餌の海草が不足した時の代用食とし

それを食べた後に海草を与え
るといった順番にしていま
す。お腹が空いている時は口
メインレタスを残さずに食べ
てくれるのですが、完食が続
いているからと与える量を少
し増やすと増やした分だけ残
します。ひざじときには全く
食べなくなることも…。また、
食欲旺盛で食べるペースが早
いからアマモを増やそう!と
海草を多く与えた翌日はだい
たいロメインレタスを残すの
で、海草を増やしたことと少

セレナは後から大好きな海草がもらえることを分かっているので、無理にロメインレタスを食べなくて済むのです。そんなことから私たち担当者の中では「朝のロメインレタス食べた?」なんて会話をいつもしています。

ある時、海草が不足しそうなので代用食であるロメインレタスの割合を増やしました。最初はなかなか食べませんが、海草がないと分かることに勢いよく食べだします。そしてこんなこともありました。夕方に与

えたロメインレタスをいつまでたつても食べないので、もうこれでおしまい（海草はありませんよ）と水槽照明を消すと、諦めたのかその後すぐに食べだしたのです。その日セレナは最後まで海草を待っていたようです。

「どうすればセレナが残さずにロメインレタスを食べててくれるのか、海草を与えるタイミングや量を上手く調整し、セレナの心を読みながら【ちょっとした】かけ引きをする毎日なのです。



これは城か要塞か!?



ペール化された包装プラ

今やほとんどの商品がプラス包装される時代になりました。皆さんもふだんからリサイクルされていると思いますが、さて、その後はどうなつているのかご存じでしようか。よく知らなかつた私は、まずは市の環境課でお話を伺つてきました。そこで

伊勢志摩 プラプラ リサイクルの現場訪問

高林 賢介

学んだのは、鳥羽市だけでは「みの処理は終わらない」ということ。1市で大きな設備や処分場は持てません。そこで鳥羽、志摩、南伊勢の2市1町でエコセンターを共同運営し、回収はそれぞれの市が、リサイクルと焼却はエコセンターが行うよう分業化しているのです。そうなるとエコセンターのお仕事が気になりますよね。ひとりでの視察もOKとのお返事に甘えて、いざ大人の社会見学となりました。

山間のくねくね道を抜けるとまるで要塞のような建物が現れました。優しく迎えて頂いた所長からは、エコセンターの成り立ちや組みを詳しく伺いました。私なりにまとめるところ、持ち込まれたごみはできるだけ資源に変える、有価物は売る、排熱から得たエネルギーも電気に変え、そして埋め立てる残渣を減らす、

曰こころの捨て方が問われます。今回の見学では大切な気づきがありました。「質の悪いPFIはリサイクルできない（焼くしかない）」と、いう点です。質を上げるために、セ



人の手あってのリサイクルでした

ンターではプラごみが次々と流れる
ベルトコンベアで、異物や汚れたも
のを選別していました。これには人
力が欠かせず、ご年配の方々が手際
よく分ける姿みて本当にありがたう
いなと思いました。コロナ禍で感染
のリスクがあつたときも、皆さんは
我が仕事をして頑張ってくれたそ
うです。不精な私ですが、この視察を
させて頂いてからというもの、リサ
イクルに出すときは、皆さんのお手を
煩わせないぞとても気を遣うよう
になりました。大人はこの姿を見る
べき!

ルルは1993年生まれで、30歳のメスのファンボルトペンギンです。このペンギンは鳥羽水族館では、7~8月にかけて全身の羽が生え変わります。これを換羽と言います。犬や猫の毛がわりは換毛とも言いますが、換羽は羽がわりとは言わないようです。

鳥の換羽は、その暮らしの中で産卵や子育てと同じくらい大事な営みです。イギリスには、鳥の換羽のことだけを解説した参考書があります。換羽は英語で moltと言います。哺乳類の毛がわりも moltです。さらにエビやカニの脱皮も moltと言うそうです。毛がわりや鳥の換羽と脱皮が同じ、というのは意外です。

さて鳥羽のファンボルトペンギンは、早い個体なら換羽の50日ほど前から、普段の1~5倍くらいの魚を食べるようになります。そして通常4キロくらいの体重は、5キロを越えるくらいになります。そし

羽の後もがんばつて、いつもよりも多くのエサを食べています。

鳥羽にはルルより高齢のベンギンが1羽います。志摩マリンランドから来たメスのマリンで、ルルより1歳年上です。ルルとは対照的に、マリンは普段から

ルルは1993年生まれで、30歳のメスのファンボルトペンギンです。このペンギンは鳥羽水族館では、7~8月にかけて全身の羽が生え変わります。これを換羽と言います。犬や猫の毛がわりは換毛とも言いますが、換羽は羽がわりとは言わないようです。

鳥の換羽は、その暮らしの中で産卵や子育てと同じくらい大事な営みです。イギリスには、鳥の換羽のことだけを解説した参考書があります。換羽は英語でmoultと言います。哺乳類の毛がわりもmoultです。さらにエビやカニの脱皮もmoultと言うそうです。毛がわりや鳥の換羽と脱皮が同じ、というのは意外です。

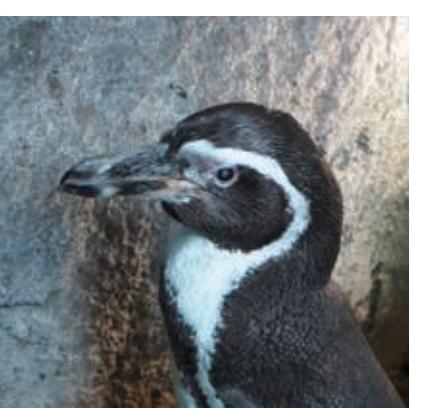
さて鳥羽のファンボルトペンギンは、早い個体なら換羽の50日ほど前から、普段の1.5倍くらいの魚を食べるようになります。そして通常4キロくらいの体重は、5キロを越えるくらいになります。そし

② 換羽の前に多くの魚を食べて、十分体重を増やすことができるか、③ 換羽でやせてしまった後に普段通りにエサを食べて、体力が回復するか、この3点です。ルルの換羽が始まつたのは9月18日で、かなり遅く心配しました。換羽が終わつた後に涼しくなつてしまつて、体力を失う可能性があるからです。その意味では、2023年の秋の暑さはルルに味方したかもしれません。また普段ひかめなルルが、今回の換羽前には多くの角を食べて体重が増えました。以前にはこの時期に十分な量のエサを食べず、換羽後には体力がなくなつて死んでしまつた高齢のペンギンもいました。一方ルルは換羽の後もがんばつて、いつもよりも多くのエサを食べています。

鳥羽にはルルより高齢のペンギンが1羽います。志摩マリンランドから来たメスのマリンで、ルルより1歳年上です。ルルとは対照的に、マリンは普段から

しつかりエサを食べて、8月15日に始
まつた換羽（若いペンギンに比べると遅
いですが）も無事終わって、今も元気に
暮らしています。

さてこれを書いているのは、ルルの換
羽が終わった約1か月後なので、胸を
張つてこれでルルは大丈夫、だとは言え
ません。ベンギン担当者の私にできるの
は、注意深くルルの行動を観察して小さ
な変化を見落とさないようにすること
と、できるだけルルにエサを食べてもら
うようになります。また獣医の私に
できるのは、先輩担当者の言葉に耳を傾
けて、必要なら早めに血液検査などを
行って、さらに細かくルルの体調を
チェックすることです。そのようにきち
んとやるべきことをやって、できるだけ
長くルルに元気でいてもらいたいと思い



山山(2023年11月)

獣医のまち

かんう
ルルの換羽

飼育研究部 長谷川 一宏

とっておきのウラ話 totteokino-URA-banashi

まず、コブシメは餌の確保に苦労します。「コブシメは、大きくなると体長が50cmにもなる大型のコウイカです。鳥羽水族館ではコアシメの赤ちゃんを卵からふ化させて、大きくして展示します。生まれたばかりのコブシメの赤ちゃんには活餌のイサザアミを与えますが、稚イカはたくさん食べてぐんぐん成長するため、毎日大量のイサザアミが必要となります。このイサザアミを切らさないようにすることが大変

ブシメも繁殖期は特にオス同士で争います。コブシメは一度に出すスミの量が多く、またアオリイ力などと比べるとスミにねんせいがあるため開館時間中に展示水槽が真っ黒で見えなくなることもあります。

コブシメが自分の吐いたスミで細かい網を作り、それを用いてスミを吐かないようにオスとメスの比率を調整したり、驚かせないように給餌や掃除をしたりするようになります。



水中でホバリング中のコブシメ



サンゴの骨格に隠れているバンダコウイカ

コウイカ類はここが大変！

飼育研究部 岩出祐子

一方で、バンダ「コウイカは成長しても5㌢ほどの小型のコウイカです。」「アシメよりも泳がずじっとします。」いーうーん、「これは生きものを展示する上での永遠のテーマな気がします。

イカは水中を優雅にホバリングしたり、体色を一瞬で変えたりと見ていて飽きない魅力的な生きものです。その中でもコウイカの仲間は泳ぎ方がゆっくりしていて、じつとしていることも多く、飼育しやすい種類です。鳥羽水族館では、コブシメとバンダコウイカの2種類のコウイカ類を飼育しています。どちらもおだやかな性質をしています

この文章は、イサザアミの飼育方法について述べたものです。イサザアミは、水中を優雅にホバリングする能力があり、体色を瞬時に変えることで見守ることができます。また、仲間のコウイカの中でも、泳ぎがゆっくりで、飼育しやすい種類であるコブシメやバンダコウイカについても言及されています。

次にコブシメが順調に大きくなっています。しかし、採集する際には、必ず一度も採集したことのある個体を放すことはできません。そのため、採集した個体は、必ず一度も放さなければなりません。また、採集した個体は、必ず一度も放さなければなりません。

一方で、バンダコウイカは成長しても5㌢ほどの小型のコウイカです。コアシメよりも泳がずじつとしていることが多い、体色を変えて背景に溶け込むことが得意です。小さくて動かない、その上隠れるのが上手となると、バンダコウイカで困るのはお客様が見つけにくいことで、今年は大きさ1㌢ほどの赤ちゃんを展示したので、サンゴの骨格に隠れたイカを見つけるのがより難しくなつてしましました。お客様に分かりやすく見てもらいたい、でも生きものが落ち着いて暮らせるように隠れ家も入れたい、この2つのようにバランスをとるのがとても難しく、いえ!!

ここまでコウイカ類を飼育していく大変なことを紹介してきましたが、反対にうれしいのはやはり産卵とふ化のときです。水槽内に産み付けられた卵を見発見したとき、卵の中の赤ちゃんがどんどん大きくなつていくとき、無事にふ化したとき、初めて餌を食べたとき、何回経験してもいいものです。コウイカ類の赤ちゃんが生まれたときは今後も飼育日記等で発信していきます！その際はぜひご来館ください!!



もう ヘンなヤツとは 言わせない！

第25回

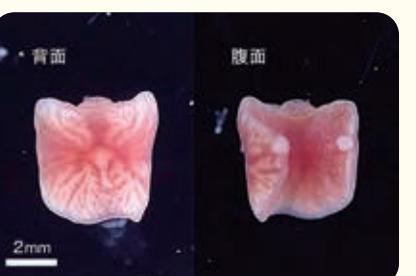
学名のはなし

飼育研究部 森滝 丈也

研究者に熊野灘で採集した未記載種を提供することがよくあります。ですが、自分が採集した生物にどんな名前が付くのか、いつもワクワクします。学名の多くは地名や人名、その生物の形態にちなんで名付けられます。地名であれば、その生物が採集された場所、人名であれば採集者やその生物研究の第一人者の名前など（いわゆる献名です）、個人的には生物の形態などの特徴に由来する学名が特に好みです。ただ、ごく限られた文字数でその生物の特徴を端的に表すのはなかなか困難で、結果、推理しないと由来がわからないものも多いります（記載論文に由来は記述されています）。

例えば、前回も紹介しましたが、ヒメエンコウガニの触角に寄生する *Akrophyryxus acinaces* は、オスの長く湾曲した指節の形状からアラビア、ペルシャ起源の湾曲した刀（アキナケス）と名付けられたものの同じ仲間に中世ヨーロッパの楯を意味する *milvus*（メスの尾節が楯状なので）と名付けられた種もいるので、楯と刀、なかなか洒落た

組み合わせだと感心します。しかし、一見するだけでは、どうが橋やら刀やら全くわかりません。人名由来の学名としては、例えば、ヒメヒトデの内臓から見つかったスイクチムシの一種 *Asterionyzostomum monroeae* はじゅうどしもへ。monroeae はもわるんアメリカの往年の有名女優マリリンモンローで、レノンクの体色とぼつとりとした口がマリリンモンローのイメージです（個性的）。また、ソノモチダコの腎囊（腎臓）を住処とする二ハイチュウの一種 *Dicyemodaca kuki* は、鳥羽周辺で活躍した戦国大名の九鬼義隆にちなんでいます。二ハイチュウと九鬼氏に特に共通点も関連もありませんが、三重県を代表する名前として提唱されました。ちなみに本種の和名はスイグンニハイチュウで、学名と和名で「九鬼水軍」になるのがミソです。
最後に学名の由来としてはかなりの変わり種をひとつ。それはヒメコウイカの腎囊から見つかった、これまた二ハイチュウの *Pseudodicyemam anemophilum*（和名カゼノ二ハイチュウ）。anemophilum はギリシャ



Asteriomyzostomum monroeae (ヒメヒトデスイクチムシ)
確かにマリリンモンローの印象を感じました



イカやタコの腎嚢から見つかるニハイチュウの仲間

語で「風を好む」の意味で、宿主のヒメコウイカを採集した日がたまたま風の強い日だったことに由来します。採集した天候^{てんこう}が学名になつた例を他には知りません。採集者の^{ひきめいしゃ}頭^{かぶ}目^めかも知れませんが、憶えやすくてお気に入りの学名です。

読者のページ

LETTERS FROM READERS

☆読者の皆様からのお便りを、お待ちしております。

鳥羽水族館の思い出、質問、何でも結構です。採用させていただいた方には記念品をお送りいたします。

特集がスナメリ飼育60周年ということでTSAを頂きました。とばすいに行くと必ず裏の海に野生のスナメリがいないか見るので、一度も見れたことがありません。今回のTSAを読んで、飼育だけでなく、野生のスナメリの保護や調査にも尽力されているのを知りました。

★井上 泰博さん(神奈川県)

スナメリ飼育の苦労や、飼育員のみなさんのスナメリへの愛情がよくわかりました。24時間体制で赤ちゃんのお世話をすること…。愛とチームワークの成せる業ですね。尊敬です。

★山田 まりさん(新潟県)

毎年家族で行って楽しめていただいている。スナメリといえばスマホを構えると水槽のガラスに寄ってしてくれるのがとてもかわいく、いつも長時間眺めてしまいます。そんなかわいいスナメリを飼育する大変さや人工哺育への挑戦などとても興味深く読ませていただきました。「輪」という名前もとても意味がありいい名前ですね。また、自然界で水族館周辺だけ死んでしまっているなんてびっくりでした。次回鳥羽水へ行った時は違った見方でスナメリに会いたいと思います!!

★山口 大輔さん(兵庫県)

TSA表紙を見て「スナメリ!!」気分が上がりました。私は開館したらまずスナメリに会いに行きます。まだ人が少ないガラス面で手を振ったりすると見に来てくれる!!それがすごくうれしくて!!これからも楽しみにしています。

★久野 明子さん(愛知県)



★垣本 敏尚さん(大阪府)



★高瀬 真帆さん・葵也さん(三重県)

お便り・イラスト募集中

引き続きおたより・イラスト・写真を募集します。
締め切り: 2024年2月29日
【あて先】
〒517-8517
鳥羽水族館 T.S.A. 編集室(住所不要)
メールアドレス: tsa@aquarium.co.jp

「ちりとり」、それは掃除の際「ほうき」と一緒に使うもの、それが一般的な使い方だろう。ほうきで集められたゴミをちりとりで受け、ゴミ箱へ捨てる。単純な作業ではあるが、ちりとりがあるのと「ない」とでは、作業に大きな差がある。小学生のころ、掃除時間になると、ほつき当番かちりとり当番のどちらを受け持つかで、いつももめていた。記憶がやや曖昧なのだが、ほつき当番よりもちりとり当番の方が人気だったと思う。ただそれは、ちりとりがかっこよくて、皆が手にしたい道具というワケではなく、単に掃除で樂ができるからという理由だからだった。

大人になつた私が水族館で働きはじめたあとも、ちりとりとの関係はきれていない。むしろその縁は深くなつていると思う。そう、水族館では掃除とは違つた場面でもちりとりが大活躍しているのだ。そのシーンをいくつか紹介してみよう。

まず、餌を切る時、いわゆる調餌の際に餌である魚(主にアジ)をまな板の上に切り溜めてゆくのだが、一般家庭のように数匹で調理が終わることはまずない。大きなまな板の上に10kg以上の魚の山が築かれ、それをすべて切り分けていかねばならないのだ。その際ちりとりを使って取り寄せたり、すくつたり、集めたりするのだ。予想以上に、ちりとりが活躍するのである。

水族館のバックヤードで(恥ずかしながら)水をこぼしてしまつたりすると、このちりとりが活躍する。もちろん吸水スポンジやぞうきんなども大いに助かるのだが、意外と、ちりとりで水をすぐ

ちりとりとの関係はきれていない。むしろその縁は深くなつていると思う。そう、水族館では掃除とは違つた場面でもちりとりが大活躍しているのだ。そのシーンをいくつか紹介してみよう。

まず、餌を切る時、いわゆる調餌の際に餌である魚(主にアジ)をまな板の上に切り溜めてゆくのだが、一般家庭のように数匹で調理が終わることはまずない。大きなまな板の上に10kg以上の魚の山が築かれ、それをすべて切り分けていかねばならないのだ。その際ちりとりを使って取り寄せたり、すくつたり、集めたりするのだ。予想以上に、ちりとりが活躍するのである。

水族館のバックヤードで(恥ずかしながら)水をこぼしてしまつたりすると、このちりとりが活躍する。もちろん吸水スポンジやぞうきんなども大いに助かるのだが、意外と、ちりとりで水をすぐ

鳥羽水族館 モノ語り

NO.36 ちりとり

うと素早く対処ができる。ちりとりで「シャツ!」と水をすくい上げるのは爽快感にも似た心地よさがあり、あつと言う間に片付け完了!となる。ただし弱点がある、それは床が平らな場所でないと、ちりとりはうまく活躍できない。

そうそう、ホームセンターなどのペットコーナーで、このちりとりの形をした道具をみたことはないだろうか。アクアリストが使つちりとりは、本体に無数の穴があいて空いているのだ。これは、水槽の底砂をすくうときに水を切つて集めやすくする優秀な道具なのだ。ただ水族館で使つているのはあまり見た記憶がない。もしかしたら、水族館で使用するには少し小さいためかも知れない。

よくよく比べてみると、ちりとりの形もいろいろあって、使いやすさの具合だつて千差万別だ。私のお気に入りは、底が肉厚で手に持つた感じ重ながしつかりとしたモノだ。ペラペラのものは、すぐに壊れてしまう印象がある。もちろんこれは飼育スタッフによつても好みが分かれるところではある。

こうして考えてみると日常的に使用している道具には、じたても職場でも大いに助けられている。やはり手に馴染んでいるモノは、使い勝手が良くて、役に立つということなのだろう。



鳥羽水族館のご長寿さんたち

企画広報室 村上 真美

フンボルトペンギン ルル(メス)・マリン(メス)



ルル



マリン

1993年
5月22日
鳥羽水族館生まれ
30歳

2021年
9月23日
志摩マリンランド
より入館
31歳

言わずと知れた水族館の人気者、「ペンギン」。トバスイのご長寿ペンギンはこのお二方。飼育係のそれぞれの印象は、

ルル…小綺麗で上品なおばあちゃんのようなイメージ。

マリン…高齢での志摩マリンランドからの移動も耐えた、元気なおばあちゃん。

最近「うみ」とペアを解消した様子が見られるが（うみが別のペンギンの方へいってる。）特に気にする様子もなくどっしりと構えているそう。基本的には大人しい性格だが、ご飯の時にはわりとアグレッシブな様子を見せる一面も。

ペンギンは一年に一度「換羽」という羽の生え換わり時期があり、換羽はペンギンにとって一年のうちに最も体力を使う大仕事です。特に高齢になると換羽を無事終えられるかがカギとなるので、2羽とも来年の換羽も乗り切ってほしいですね。（※「換羽」について詳しくは今号P20をご参照ください！）

ワニガメ(オス)



奇跡の森にひっそりと佇むのは巨大な「ワニガメ」。その大きさは他のワニガメと比べても圧倒的です。入館して30年以上になるとのことで、日本で飼育されているワニガメの中でも大きい方ではないかと言われています。大きすぎるからかパッと見ただけでは岩と間違えて気づかず素通りされてしまう。そんな彼ですが、エサは月曜と金曜の週2回で、食欲旺盛な時はエサを一度に10～20匹ほど食べ、豪快な姿を見せてくれる方。遭遇出来た方はラッキーですよ！

ヒゲツノザメ(メス)



1990年
12月29日
入館

国内で飼育されているヒゲツノザメとしては最高齢で、志摩市沖ではえ縄漁船が捕獲した個体です。深さ100メートル以上の深海で暮らすため、捕獲されるのは珍しく、飼育している園館も少ない。詳しい生態や寿命がまだよくわかっていない謎多きサメです。エサは週3回で、イカやエサを食べます。同居するタカアシガニや小魚を襲うことはなく、大人しく、動きもゆっくりとっています。Eゾーン「伊勢志摩の海・日本の海」で会えますよ。

バイカルアザラシ ナターシャ(メス)



2023年
5月17日で
入館42周年

ご長寿といって外せないのがバイカルアザラシの「ナターシャ」。国内最高齢のナターシャは、現在長期飼育記録を更新中です。推定0歳で入館し、入館当時は体重：13.2kg、体長72cm、だったのが現在は体重：約70kg、体長：約105cmで

毎日アジ・シシャモ・ホッケなどを食べて、食欲も衰えることなく元気に過ごしています。性格は気が強くボス的な存在ですが、他の子に先に餌をあげていると、ヨダレが出てくるというお茶目な一面も。毎年、入館記念日にはお祝いにアユをプレゼントしており、大きな目をひとくわまん丸にして食べる様子が印象的です。そんなナターシャ、推定7歳の時に重い感染症にかかった過去があ

り、当時は飼育係も心配しましたが、無事に回復、病気に打ち勝ちました。

バイカルアザラシの寿命は50年～60年といわれていますが、寿命にとらわれずまだまだ元気に過ごしてほしい限りですね。

ナターシャのびっくり!?エピソード

ナターシャが若かりし頃のある朝、飼育係が見回りに行くとナターシャが水にプカーっと浮いたまま全然動く気配がない…今まで元気だったのにまさか…慌てて水槽の中に行つてナターシャの様子を伺おうとツンツンしてみると、その勢いで抵抗もなく動いていったようだ。「ああ、もうダメか…」と思ったその時、何事も無かったように動き出すナターシャ。どうやら水に浮かんだまま寝ていたようで、その後も元気に餌を食べ、一安心。少しお騒がせなエピソードでした（笑）

スナメリ 勇氣(メス)



1985年
4月17日
鳥羽水族館生まれ
38歳

名前からオスと間違われることが多いが、優しい表情が特徴の女の子のスナメリ。スナメリ担当のベテラン飼育係が実習生の頃に鳥羽水族館で生まれたということで、まさに大先輩！両目の周りが黒っぽく少し眠たそうな表情に見えるところもかわいい勇気おばあちゃん。サッカーが得意で他のスナメリはヘディングで遊ぶことが多い中、尾びれを上手に使ってプールサイドにボールをあげができるのは勇気だけなのだと。現在はバックヤード水槽でのんびりと暮らしています。

鳥羽水族館 スケジュール (2023年12月1日現在)

1月



お正月イベント

いつも上向きへ
幸せ運ぶラッコ神社
期間：12月30日(土)～
2024年1月7日(日)



イメージ

2月

3月

4月

5月

キラメイで☆
ぼのぼのと海のお花ばたけ
期間：2024年3月16日(土)～
5月6日(月・振)



©いがらしみさお／竹書房・フジテレビ・エイケン
©TOBA AQUARIUM

■詳しい日時についてはホームページでご確認ください。なお、動物の健康状態などにより変更や中止の場合があります。

クイズ&プレゼント Quiz & Present

Q.1984年、初めて鳥羽水族館で生まれたラッコの名前はなんでしょう？

- 1：チャチャ
- 2：プック
- 3：モコモコ

ヒントは
特集ページに
あるよ！

正しい
正解者の中から抽選で3名様に
「ラッコメモリアルBOOK」をプレゼントいたします。クイズの答え、住所、氏名、電話番号、感想をご記入の上、ご応募ください。

締切は2024年2月29日(必着)で、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

あて先：〒517-8517 (住所不要)

鳥羽水族館 T.S.A. 編集室



定期購読
方法の
ご案内

郵便払込み（青色用紙）でお申し込みください。

加入者名：鳥羽水族館 T.S.A. 編集室

口座記号番号：00890-7-188305

料金

1年分 420円、2年分 840円です。

通信欄に氏名、住所、電話番号、何号からの購読希望か、
購読期間は1年か2年かをお書きください。

【動物取扱業に関する表記】

鳥羽水族館：三重県鳥羽市鳥羽 3-3-6 種別：展示 志摩第18-1号 2006年6月1日 登録更新：2021年6月1日 有効期間：2026年5月31日まで 動物取扱責任者氏名：長谷川一宏